

ねらい	活動を通して仲間とのよりよい人間関係を築く意欲を高める。仲間と力を合わせて活動することで、達成感や成就感を味わうことができるようにする。		
教科・領域	特別活動	時間	約 90 分間
対象	小学 3 年生	人数	34 人
活動の流れ	活動名	概要	○留意点 ●指導者の視点
	ウルトラマンチェック	○お題に対して、親指の角度で自分の得点を示し、お互いの気持ちを共有する。	○お題 ・クラスに全員と関わっている。 ・クラスのチームワーク
	じゃんけん	○ペアでじゃんけんをし、相手の出した手を「石・鋏・紙」のどれかで早く言い合う。 ○ペアでじゃんけんをし、ゲーム 100 円・チョコ 20 円・パー 5 円として、たし算をする。	●誰と関わっているか、関わりを広げようとしているか。 ●勝敗にこだわらず関わりを楽しめているか、エラーも含めて楽しめているか。
	進化じゃんけん	○卵→ヒヨコ→鶏→不死鳥のポーズを決め、同じポーズ同士でじゃんけんをし、勝ったら 1 つ上がる、負けたら 1 つ戻る（アクティビティ集参照）。	●クリアした子がどのような役割を果たしているか。
	集合写真	○1 枚の絵を 8 等分したカードを配り、お互いのカードを見せ合わずに絵に関する問題（絵の中には全員で何人いるか）を解決する。	○できるだけ普段関わらないメンバーで小グループを作る。
	トランプラインナップ	○トランプの数字で番号順に並ぶ ・見せ合える→自分だけ見る→自分は見ない（額の前に持つ）	●やり方の違いによって、意思疎通の仕方にどのような違いがあったか。
振り返り	○最も楽しさを感じたのはどの瞬間か、それはどうしてか。 ○クラスとの関わり、クラスのチームワークの得点は活動前と比べてどう変化したか。		
準備物	「集合写真」の情報カード、トランプ、ストップウォッチ		
参加者の様子や感想	○全体的に活動に前向きで仲良く関わる雰囲気があり、活動を通してより一層関わりを広げたり、協力したりする様子が見られた。 ○普段話さない子と話して新しい一面を知ることができたという感想があった。		
指導に係る気付き	○誰とでも仲良く関わろうという雰囲気が感じられたので、アイスブレイクを短くし、課題解決にじっくりと時間をとるとよかった。		